

## 「電気使用安全月間」にあたって

日頃から、産業保安行政に対する御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、生活に影響を受けている皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、感染拡大防止に向けて御尽力されている関係者の皆様に深く敬意を表します。さらに、このような医療を支えているのは電気であり、その使用の安全に貢献してくださっている方々に対しましても、感謝申し上げます。

今日、電気は、家庭生活から産業活動全般に至るまで、あらゆる社会生活の基盤となるエネルギーとして必要不可欠なものとなっております。

我が国がこれまで経験したことのないような非常事態においても、電力安定供給に係る電気設備の信頼性、安全性の確保は、国民生活や経済活動の根幹に位置し続けるとともに、これまで積み上げてきた経験から判断される、事故防止に向けた適切な保守管理や、計画的な設備更新など日々の取組が必要不可欠であり、電気保安に携わる皆様方の役割はこれまで以上に重要なものになると考えているところです。

令和元年度の電気事故の発生状況を顧みますと、感電等による死傷事故が4件、自家用電気工作物からの波及事故が12件、火力設備や風力設備などの破損事故が21件発生するなど、その他の事故を含め年度合計の事故報告件数は38件となっております。

感電等による死傷事故または波及事故の原因を見ますと、作業員の安全確認不足などヒューマンエラーの芽を摘んでいけば防げていたであろう事案が多く見受けられることは残念なことです。

言うまでもなく、電気事故は、近隣住民の生活や企業活動に重大な影響を及ぼすものであり、電気工作物の設置者をはじめ電気保安に携わる全ての皆様には、更なる保安意識の向上と事故の未然防止に向けた取組推進が求められます。

経済産業省北海道産業保安監督部では、こうした電気事故の発生を防止するため、産業界はもとより広く国民、道民の方々にも、電気使用の安全に関する知識と理解を深めていただくことを目的に、毎年8月の「電気使用安全月間」において、関係機関とともに電気保安功労者表彰等の取組を実施しております。

電気保安の中心的役割を担っている北海道電気安全委員会では、本月間の重点活動テーマとして以下の3項目を掲げ、多彩な安全運動を展開していきます。

1. 日頃から電気の安全を心がけ、かしこく上手に使いましょう
2. 日頃から自家用設備をしっかり管理し、電気事故を未然に防ぎましょう
3. 地震、雷、風水害などの自然災害にともなう電気災害に注意しましょう

皆様方におかれましては、日頃から、電気事故の防止に向けた取組を行っていただいているところですが、この「電気使用安全月間」を契機に、さらに全員参加の安全運動に取り組み、電気事故防止に向けた、より一層の御尽力をお願い申し上げます。

令和2年7月

経済産業省 北海道産業保安監督部長